事務事業調書(	通常評価	事業 事後	評価)						
事務事業名	ごみ減量	量対策事業				事業開	始年度   平	<sup>z</sup> 成26年度	
担当課	市民生活	舌部 生活環	<b>遺</b> 遺課		担当者	í 阿)	皮 一世		
■事業の執行計									
	政策	06	次代に引き組						
総合計画体系	施策	02	5Rによる循環		実現				
	基本事業	<b>美</b> 01	廃棄物抑制の	)推進					
事業の目的	可燃ごみ	→の減量化を	図る。						
事業の概要	さくら市可燃ごみ処理手数料徴収等委託業務処理要領により、受託者(指定袋販売店)に対 して安定的な「ごみ処理券付き袋(指定袋)」の供給をする。								
■事業実施結果	【実施(	(Do) ]							
	:	年度	5年度		6年	度	7年度		
事業費の推移	実績/当初予算 実績			実績			当初		
	総事業費 21,721				22, 3	391	24, 613		
■前年度の事業	分析【評	亞価 (Check)							
	指標			単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	181	宗 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	丰位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	活動		:りの可燃ごみ排出	g	673	658	650	645	
	評価	〇達成、村	既ね達成した ●	多少は達	成した 〇達	成できず			
達成度の	1人当たりのごみ排出量が減少した。								
評価と説明	説明	1// 1/2 /	<b>0</b>	a) 0/20					
	ריי טעם								
見直し余地	判定	〇数年内(	こ見直し可能 (	金地はあ	るがまだ時間	が必要 〇金	≷地なし		
		ction)	75 <u>m</u> 0 3110	2 7,47 (2,040)		<u> </u>	<u></u>		
事業の方向性	〇見直 l		現状どおり継続	〇廃止・	完了				
資源方向性	予算				業務量	●拡大 C	現状 〇縮/	١	

1 100 1 VIVE 1 V	通常評価		:評価)							
事務事業名	生ごみ	処理機器設置	事業			事業開	始年度 平	·成26年度		
担当課	市民生	活部 生活環	遺譲		担当者	阿沙	波 一世			
■事業の執行計										
	政策	06	次代に引き継							
総合計画体系	施策	02	5Rによる循環		実現					
	基本事		廃棄物抑制の							
事業の目的			れる厨芥類を生こ	ぶ処理機能	器で自家処理で	することにより	)減量化・資	源化		
	を図る。		酒ルのため 夕宝	京庁生 かこも	北山それて巨っ	大粉 七 白 字 加 耶	オスナルに	bn I⊞		
事業の概要			源化のため、各家 補助金を交付する		非田される図:	「類で日豕処理	E9 @/=@/I=?	处理		
■事業実施結果		改画した有に (Do)】	開助並と文刊する	0 0						
■ 学术大心和不	<del>【大</del> 心	年度	5年度		64	中	7.	<del>左</del>		
事業費の推移	中组				6年度			7年度 当初		
争未負の推修		(/ヨ物プ <u>昇</u> 公事業費	<u>実績</u> 563		実績 921		<u>⊒10</u> 499			
■前年度の事業		平価 (Check)	1 303		9	<u>Z I                                   </u>		499		
■刑牛及の事末	指標		1		5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	指標名称		単位	実績	実績	計画	計画		
   指標の推移		補助による生ご	み処理機器の設置数	基	59	49	35	35		
10 100 10 10	75051	1111-931-0-0-1	, , c. z ix iii v ix ie x	-	00	10	00	00		
	評価	■達成、村	<u> </u>	) 多小仕達	成した()	L E成できず				
達成度の	評価   ●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず									
評価と説明	説明		する文リ、明成で	11 21-0						
一 一	ロルツコ	ᇒᅄ								
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (	余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇余	き地なし			
	<del></del>	ction)								
事業の方向性	〇見直	し継続 ● 明	状どおり継続	〇廃止・	<del></del> 完了					
資源方向性	予算				業務量	●拡大 C	現状 〇縮小	١		

事務事業調書(	通常評	福事業 事後	評価)						
事務事業名	不法投棄対策事業								
担当課	市民生	E活部 生活環	境課		担当者	何 阿	波 一世		
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】							
	政策								
総合計画体系	施策	02	5Rによる循環型社会の実現						
	基本事	<b>3</b> 業 02	不法投棄等0	の不適正処	理の抑制				
古光の口む	廃棄物	の不適正処理	(不法投棄や不適	画正な土砂等	等の埋立て、重	5焼き等) の早	■期発見及びき	<b>卡</b> 然	
事業の目的	防止を	図り、市民の	良好な生活環境保	R全に資する	3.				
古米の畑市	廃棄物	の不適正処理	の早期発見及び未	・ 然防止の	ために廃棄物	・土砂等埋立監	は視員が必要な	よ職	
事業の概要	務を行		:月20日以内)						
■事業実施結果	【実施								
		年度	5年度		6年	度	7年度		
事業費の推移	実網	実績/当初予算 実績			実績			当初	
	総事業費 3,796			7, 484			8, 355		
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)	]						
	指標	指標名称		単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	打日1	示句例	右が 単位	実績	実績	計画	計画	
お海の推移	活動	<b>无</b> `英正加珊夷安	· 3. 北 /	件	10	9	9	8	
指標の推移	活動「不適正処理事案」		也取什 <b>女</b> 计		10	9	Э	0	
	活動	不適正処理指導	及び不法投棄物回収	件	25	33	33	32	
		件数		• •		აა	აა	32	
	評価	ī ●達成、	既ね達成した (	○多少は達	成した 〇達	成できず		·	
達成度の		廃棄物・コ	上砂等埋立監視員	のパトロー	-ル等により、	不適正処理や	不法投棄の件	-数を	
評価と説明	説明	説明 抑えることができた。							
見直し余地	判定	≧ ○数年内Ⅰ	こ見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	除地なし		
■将来方向性【	<u> </u>	Action) ]							
事業の方向性			!状どおり継続	〇廃止・				•	
資源方向性	予算	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	\	

			評価)					
事務事業名	資源こ	゛み回収報償金	<b>事業</b>			事業開	始年度   平月	成26年度
担当課	市民生	活部 生活環	<b>環境課</b>		担当者	阿沙	皮 一世	
■事業の執行計	画【計	画(Plan)			·			
	政策	06	次代に引き組	迷ぐ豊かな	自然と環境			
総合計画体系	施策	02	5Rによる循環	景型社会の	実現			
1.5 [ ] [ ] [ ] [ ]	基本事	業 03	リサイクルの					
+ 414 6 17 44		みの回収量を		- 11-11-				
事業の目的								
	市が認	めた回収団体	に対して、回収重	重量1kg当 <i>た</i>	・り10円の報償・	金を口座振替	にて交付する。	
事業の概要			振込日は、7月				- ()(1) ) 00	
■事業実施結果			35CZ = 10.C 171	,,	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
_ 1.21.20.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.		年度	5年度		6年	度	7年	度
事業費の推移	実績/当初予算 実績				実		当初	
于不良い正沙		総事業費 386			32		400	
■前年度の事業		評価 (Check)	1		0.2	.,		,,,
<u> </u>	指標				5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	指标	票名称	単位	実績	実績	計画	計画
11-1								
指標の推移	活動	資源ごみ回収量		kg	38, 606	32, 730	48, 000	47, 000
	評価	〇達成、	既ね達成した	多小は達	成した 〇達	成できず		
達成度の	新価   ○建成、概ね建成した ●ダダは建成した ○建成 (と)     資源ごみ回収団体が各地域で積極的に活動し、リサイクル率の向上に寄与している							
評価と説明	説明		37人四个70~02%	て「貝」型ロンバン	- / L 幼 U 、 ブ グ	1 7 70 4 07 1-1	エにの子して	00
見直し余地	判定	? ○数年内/	こ見直し可能	■全地けお	スがまだ時間	が必要 〇全	: :地なし	
		Action)		7112516 07	1.0 12 . 02 12 HI] [F]	13 12 U 1	(75.4 0	
事業の方向性			現状どおり継続	〇廃止・	<u></u> ≑7			
資源方向性		算額 〇拡大			業務量	○拡大●	現状 〇縮小	
タ 赤 カ 門 圧	J´ <del>ブ</del>			*	木仂里	UIMA		

	通常評価	<b>西事業 事後</b>	:評価)						
事務事業名	ごみ収算	集事業				事業開	始年度  平	成26年度	
担当課	市民生活	舌部 生活環	<b>環境課</b>		担当者	阿汶	波 一世		
■事業の執行計		(Plan)			•				
	政策	06	次代に引き組						
総合計画体系	施策	02	5Rによる循環						
	基本事業	業 05	ごみの収集・	処理体制	の適正化				
事業の目的	一般家庭	ほから排出さ	れる一般廃棄物等	を安全かっ	つ適切に収集す	「る。			
事業の概要	一般家庭から、分別ルールに従って排出された、一般廃棄物(可燃ごみ・不燃ごみ・資源物)を各ごみステーションより、指定日に迅速かつ漏れなく収集運搬を行なう。								
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7年度		
事業費の推移	実績	実績/当初予算 実績			実	績	当初		
		総事業費 114,998			123,	635	133, 255		
■前年度の事業	分析【評	平価 (Check)							
	指標	指標名称		単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	181	示句你	丰位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	活動	ごみ収集時の事	<b></b> <b> </b>	件	1	1	0	0	
	活動	トンあたりの収	集コスト	円	39, 234	41, 863	50, 000	49, 000	
	評価	〇達成、村	既ね達成した	●多少は達	成した 〇達	成できず	•		
達成度の	適切な分別や資源リサイクルを行うことにより、コストの削減に努めている								
評価と説明	説明								
見直し余地	判定	〇数年内(	こ見直し可能 (	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇余	<ul><li>地なし</li></ul>		
701	<del></del>	ction)	22,22 - 31,33 -	,,					
事業の方向性	〇見直し	し継続 ● 明	状どおり継続	〇廃止・	完了				
資源方向性	予算		: ●現状 〇縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小		

	通常評価事	業 事後	評価)						
事務事業名	声かけ収集	事業	事業開	開始年度 平	-成25年度				
担当課	市民生活部	生活環	環境課		担当和	阿:	波 一世		
■事業の執行計	画【計画()	Plan)			•	•			
	政策	06	次代に引き組	迷ぐ豊かな	自然と環境				
総合計画体系	施策	02	5Rによる循環	景型社会の	実現				
	基本事業	05	ごみの収集・	· 処理体制	の適正化				
±** 0 □ 11	高齢者世帯	や障害者	世帯の家庭ごみを			り、ごみ搬出に	に係る負担を	<b>軽減</b>	
事業の目的			認が行える。						
古米の畑田	ごみの収集	は、各利	用者の希望する曜	曜日に合わせ	せ、週1回と	する。会計年度	度任用職員、1	名	
事業の概要	体制。								
■事業実施結果	【実施(Do)	) ]							
	年度		5年度		64	F度	7年度		
事業費の推移	実績/当初	実績		実績		当初			
	総事業費 1,707					185	2, 621		
■前年度の事業	分析【評価	(Check)	]						
	指標	指標 指標名称		光上	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	打日1	宗石孙	単位	実績	実績	計画	計画	
151番の14.59	成果 緊急逼	緊急連絡先への通報件数			0	٥	0	٥	
指標の推移	八条 系忌以	里裕定への	<b>进</b> 和什数	件	U	0	0	0	
	評価	〕達成、≉	既ね達成した (	)多少は達	成した Oi	達成できず	•	•	
達成度の	住民の要望に適正に対応した。								
評価と説明	説明								
見直し余地	判定(	)数年内	こ見直し可能 (	O余地はあ	るがまだ時間	引が必要 ● 分	食地なし しょうしん		
■将来方向性【	改善(Actio	on)】							
事業の方向性	〇見直し継	続 ● 明	状どおり継続	〇廃止・	完了				
資源方向性	予算額	○拡大	: ●現状 〇縮小		業務量	量 ●拡大(	D現状 O縮小	١	